SS
News Paper
2015.9月
vol 32
SS建築デザイン室㈲
岩手県花巻市湯本2-54-16
TEL:0198-27-4447
http://ssroom.jp/

木の温もりを感じる「暖かい家」

花巻市の市街地にほど近い場所に建築させて頂いたお客様は、ご出身はご夫婦共に県外。花巻は冬とても寒く、雪も多い。夏は非常に暑い…。冬暖かく、夏涼しく快適に過ごせる事が一番ですが、もう一つ、木の温もりを感じられるような家をご希望でした。

一階は、無垢のフローリングを使用し、塗装はお米を原料とした自然塗料「キヌカ」を塗布しました。これはお施主様のご希望で、お子様が間違ってなめても安全な物を使いたいという事に加え、こまめに塗る事で、「経年美」を楽しむ事ができます。また、子供室の机やニッチ、本棚なども集成材を利用し造りました。キッチン廻りや洗面廻り、ニッチや土間には、こだわりのタイルを貼り、機能的で、デザイン的なお施主様のセンスが光る素敵なお家に仕上がりました。

外部は、北欧を想わせるような外観で、屋根・壁共にほとんどメンテナンスフリーの材料です。また、屋根の雪も落ちないため、除雪の手間も少し和らぎます。

これからどんどん寒くなってきますが、ヒートポンプ暖房のパネルヒーターをご採用いただきましたので、真冬でもほんわり暖かく暮らして頂けます。

無垢床の質感と、心地よい暖かさを感じていただきたいと思います。

〈小瀬川〉

何度も打ち合わせを重ね、外部・内部ともに素材にこだわりました。

施術室はカーテンで仕切られているので安心です。

わかば町はり灸接骨院様オープン

弊社で建築させていただき、6月にオープンしました「わかば町はり灸接骨院」様をご紹介いたします。

場所探しからお手伝いさせていただきました。最初は貸店舗を改装する計画でしたが、院長のご希望で花巻市若葉町の目立つ場所に新築することになりました。実はこの場所は、院長が高校生のころ隣の店舗でアルバイトをしていて、いつかこの空き地で何かをやりたい！と思っていた場所だったということです。

建物は、女性も入りやすい雰囲気にしたいというご希望で、外観は明るいクリーム色にレンガ風のタイルでおしゃれに飾り、内観は木のやわらかい感じでまとめました。待合室は、ほど良い高さの斜め天井になっていて心地よい空間となっています。

院長をはじめスタッフの方々は、優しく丁寧な対応で的確な治療とアドバイスをしてくれます。女性スタッフも常時いますので、肩こりなどに悩む女性の方も気兼ねなく相談できます。何より日曜日も診療しているのが嬉しいですね。

〈佐藤（真）〉

わかば町はり灸接骨院

住所 花巻市若葉町一丁目10-6
☎ 0198-29-6855
受付 8:30~12:30／14:30~18:30
※予約不要
定休 (月)午後／(火)(祝)
HP www.wakaba-cho.com

右がハーフ・カルツォーネランチセット。左がパニーニランチセット。

ピッツェリア「5」チンクエ ※イタリア語で5の読み

当社から徒歩5分程の所にある、青い外観が素敵なピザ屋さん。

ナラ薪を使う本格石窯

焼きたての生地は、外はぱりっと香ばしく、中はもっちりとしていて食べ応えがあります。これは400℃にもなるという薪で高温で短時間で焼き上げるからこその食感だそう。

ランチタイムには3種類のセットメニューがあり、パニーニ、ハーフ・カルツォーネ、ピザから選べます。セットにはサラダ、スープ、ドリンク、デザートが付きます。

店内の落ち着いた雰囲気の空間は、友人や同僚との食事におすすめです。

「5」チンクエ
住所 花巻市台5-9-3
営業時間 11:30~21:00
ランチ 11:30~14:00(平日のみ)
定休 第1.2.4(月)／第3(日)

花巻の不思議な慣習

花巻地方の不思議な慣習について書きたいと思います。

皆さんお盆で御先祖様のお墓参りをしたと思いますが。私もお墓参りをしてきましたが、ふと思いました事がありました。

最近は見る事が無くなりましたが、昔は墓石に昆布を垂らして水をかけませんでしたか？私は小学生の頃（38年以上前！）の記憶で垂らしていたのを覚えています。

実はこの慣習は花巻周辺だけみたいで、他の地域では行われていなかったみたいです。

なぜこの様な慣習があったのか調べてみましたがそれらしい話はありませんでした。御先祖様が「よろコンブ」から「だと、御先祖様がお供物を昆布に包んで持っていけるようにだとかみたいな話は有るみたいですが、違う理由が有りそうです。機会があったらもう少し調べてみたいと思います。誰かご存じですか？

〈鎌田〉